

雪解けも進み、大分と春らしい陽気となりました。皆様益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。自衛隊函館地方協力本部長の小幡です。

平素は、函館地方協力本部の取り組みに対しまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

いよいよ、3月、平成30年度の最後の月となり、地方協力本部としては、自衛官候補生の採用にラストスパートをかけているところです。

3月は卒業式シーズン、学生の皆様は、今まで共に過ごした学友との別れの寂しさとともに、4月からの新たなスタートへの期待と不安の入り混じった複雑な気持ちで時を過ごされていることと思います。本年度、自衛隊の採用試験に合格された皆さん、自衛官としての新たなスタートに向け、心機一転邁進されるよう、入隊までの間、心と体のリフレッシュと鋭気を養い、自分の時間を大事に、有効に活用してください。また、季節の変わり目ですので、くれぐれもお身体にはお気をつけて。

さて、先日の3月3日（日）に、航空自衛隊北部航空音楽隊（隊長 山本 史月 1等空尉）の支援を受け、自衛隊函館地方協力本部主催の音楽演奏会を函館市芸術ホールにて開催しました。この演奏会は毎年、入隊予定者や募集・援護協力者をお招きするとともに、広く一般の方にも公募しているもので、地域の皆様にとっては楽しみなイベントの一つとなっているものです。演奏会は午後2時開演と、午後6時開演の2回の公演で実施され、合わせて1000名近くの方にご来場頂きました。公演は、2部構成で、第1部は航空自衛隊や北海道にちなんだ曲が、第2部は映画音楽を主体とした曲が演奏され、素晴らしい音楽隊の演奏を堪能することができました。特

に今上演されている映画にちなんで「ボヘミアン ラプソディー」が演奏された際には会場は大いに盛り上がりました。時節を捉えた音楽隊の選曲が秀でていました。また、公演の前日の3月2日（土）には、音楽隊の隊員は函館市の戸倉中学校を訪問し、吹奏楽部の部員の方々に、楽器ごとに呼吸法や音程のとり方など細部にわたり演奏指導をしました。隊員と吹奏楽部員は楽器と音楽を通じ、親睦を深めたようです。

公演のアンコール曲では、サプライズとして戸倉中学校吹奏楽部と音楽隊との合同演奏が行われ、「宝島」の乗りの良い曲調に合わせて、会場は大いに盛り上がり、曲の終了後は割れんばかりの拍手が鳴り響きました。

音楽隊長の談話では、戸倉中学校吹奏楽部との音合わせは、演奏指導時と公演当日のリハーサルの2回しかなく不安はあったとのことでしたが、息の合った演奏は観客を魅了しました。音楽隊員と吹奏楽部員と演奏者が倍となり、その音の迫力は最高でした。

函館地本は、来年度も各自衛隊の音楽隊の協力のもと演奏会のほか、各種イベントを計画し、地域の多くの方々に喜んでいただくとともに、自衛隊についての理解を深めて頂けるよう、今後も努めていきます。

31年3月